あれから一年…今学校では

ても、教育という共通

の目 おい

りますし、

その

ボ

その活躍

には、

ホランティ 頭が下が

気持ちを醸成し、次いで、代の明るいほのぼのとし

脳を活性

戸と心を合わせ、「今日の世紀に」

学生時 の C D

持つ仲間は切磋琢磨

為であると思

人間社会の模範

化し、更に懇望演や研修を行い

るだけでなく、

職場に

絆を持つ同窓会であります。

それは、母校を同

一にす

仮設体育館で行った開校式 4





福島大学 人間発達文化学類 同窓吾峰会 会

を申し上げます。 生活を余儀なくされておら 高校の同窓会と違った素晴らしさです。 絆の強さ、会員とな感じましたのは、こ 避難 を心からお祈りします。 放射線に不安な生活や避難 半を迎えましたが、今なお、 心じましたのは、吾峰会の私がこの震災で一番強く 一日も早い不安の解 生活からの復興・復元 会員と会組 た強い・中・

の長寿会員には賀寿を贈呈部報などを配り、九十五歳費を徴収し、吾峰会報や支 ておりますのは、県内多くの集まりであるからです。 ます。 どの活動には明確 いして、世間話に花を咲か し、人生の終焉を迎えた方 りになり、 会員のお宅を一軒一軒お回 です。これらのみなさんは、 方部委員などの方々の活躍 の支部での評議員や理事、 で徴収し、吾峰会報や支そして、少額の支部運営 絆を深めておられます。 をして下さってい、香典を捧げるな 会員に直接お会 県内多く

あるからです。 の順ですが、震災と原発避に実施し、来年度は浜通り 県南地区へと順送りを予定 難で開催は不可能なため、 松大会を十月十三日 は震災で凍結しました二本 会を開催しています。本年 方部持ち回りで大会・懇親県北・浜・県南・会津の四 を張って自慢し、 しています。 さと組織の素晴らしさは胸 これらの大会では、 更に、絆を強めるために、 みなさんの素晴らし ています。

平成23年度 吾峰会主催

卒業祝賀会

B B



賀寿祝い



感謝状贈呈

ばり、た、た、た、たんだ。

会員

は全

ています。

いかなければならな

部の運営が課題になってい絆を深める方策と県外の支ばり、支部のない方々との

を考案した先輩の偉大さにこの様な組織や運営計画 がなされて して末永く残し、 敬服するとともに、 欲 0 います 充実を図 強化して 伝統と る運

服部会長

ご協力を切にお願いします。

始度の、刊

一度刊行

を目指し

たいと思います。

め本年は、各支部事務局長る必要があります。そのたまず会員の所在を明確にす を切らないようにするには、 課題解決に努力をし 強い糸で結ばれた絆 皆さんの 準備を 簿

会議を開

催して、

会員名

0

在り方を検討

話を覆す原発事故から一年未曾有の大震災と安全神

司

の絆を深めるために

親を深め、絆を強めておら総会と懇親会を開催して懇ます。それに、各支部では

ます。

れます。

一会を運

する一

同窓吾峰会会長

服

土

開会のことば

会長あいさつ

来賓あいさつ

の活動について

・同監査報告について

研究奨励事業研究募集

会報129号・130号の編集計画

の他

議長選出

1 2

3

4

5

6 (1)

(3)

(4)7 議

(1)

(2)いて (3)2

1

2

(3)

4

(5)

諸 連絡

(1)

中

この辺りが松川事件の現場

思

を

金谷川駅頭に立ち

順

人間発達文化学類長あいさつ

議事録署名人選出・記録者紹介

今後の積立金管理運営について

「福島大学震災義援金」への寄付状況

「大震災後の福島県の教育復興を進める会」

平成23年度吾峰会主催卒業祝賀会について

平成23年度事業報告並びに会計決算報告

平成24年度組織強化委員会活動計画

各支部活動のインターネット更新依頼

平成24年度以降吾峰会大会開催順序

平成24年度賀寿慶祝、その他事務連絡等

にあらためて驚嘆する。

会議は、要項の次第にそっ

平成25・26年度役員選考委員の選出

平成24年度事業計画(案)並びに予算(案)につ

序

かに進められた。 議員が出席され、

前白河支

部長の佐藤勝市様に、会長部長の星輝夫様と前本吉支

吾

-成二十四 ・皮の 部議員

教授のあいさつがあり、伊 評議員会は、

類大会議室で開催された。

昨年は、

東日本大震災で

に福島大学人間発達文化学

去る五月十九日

と学類長代理で千葉養伍

り感謝状が贈呈された。 会長あいさ

達支部の菅野弘明評議員を 〇二本松大会は、 議長に選出して進められた。 各ページに紹介している。 支部事務局長会を八月に 締切が九月二十日 研究奨励事業では、 特に重要な内容は、会報 日 (土) 実施予定 十月十三

愛知支部まで三十六名の評

会は和や

遠くは、北海道支部から

開催で、順調な歩みになった。

たが、今年は例年通りの五月

一ヶ月遅れて七月開催であっ

○会報は八月と二月の二



になった。開会の四十分前 として初めて出席すること

述べられましたが、これら 握にどう対応するかなどを に避難されている会員の把

念像モニュメントを巡って周年記念に建立された、記散会後、福大創立百二十

事務局が真 まれたこと

家路についた。

同窓生相互の絆を

ため国道四号ルートを選ぶ。 会場が金谷川の福大である

乗り切れるか。特に県内外吾峰会存続の危機をどう

どの支援や対応を行って ることが報告された。

会津支部の評議員

学類長あいさつ 千葉教授(代理) る。 るため、

二九•一三〇号)発行。 口

で、

ゆっくりキャンパス内

へ来たのが初めてという 員さんは金谷川キャンパス に福大に到着。先輩の評議

0

昨年中止になった。に感謝申し上げます。

止になった二本松

ができるよう努めていきた 強め、楽しい充実した活動

正面から取り組 の課題に役員、

提案通りに承認された。 議長に選出し、 て報告や議事が進行する。 (代理千葉教授) 服部会長はあいさつの 服部会長、 後、菅野伊達支部長を 中田学類長

のあいさ

貌しているその姿に、

時代

の移り変わりを強く肌に感

じました。

なく、

近代的な街並みに変

したが、当時の面影は既に

久しぶりに訪れた福島で

閉会のことば

る。 野球場、 ツ体育施設が建ち並んで 理棟·研究棟、陸上競技場、 にならないほど、白亜の管浜田町キャンパスとは比較 しい見事な施設及び環境 体育館等のスポー 研究の場にふさ 1)

た広大なキャンパスには、 を散策する。新緑に囲ま れ 大会が十月に開催されるこ

向け北上する。評議員会の 国道四号を通り、 んが乗車し、 県道本宮線、 福島市に 憂うつの一年であったこと。 なくされ、 に見えない現状に心痛と し、県内外に避難を余儀

復興の兆しが一

の教育復興を進める活動なべの震災義援金 (3)震災後への震災義援金 (2)福大災支部への見舞金 (2)福大に対して、吾峰会は、(1)被重要だと思います。大震災

朝七時に自宅を出 先輩の評議員さ 浜通り地区の会員が多数被 で、

湯

司

生

の

絆

0

皆さんは大会の成功に

て、

着々と準備を進め

强

おられることでしょう。

大会開催の意義はきわめて

復興元年の今年、二本松

議員会に出席して

北海道支部事務局長

とともに初めて評議員会に 出席いたしました。 北海道支部として支部長

帰

には額にうっすらと汗をか学類棟の会議室に入った頃究棟の数々、人間発達文化の地を利用した各学類の研りンドでした。緩やかな傾 まず、 緒に学内に向かいました。 れが充分に行き届いたグラ はせながら坂道を学生と i長さんに永年勤続感謝状 ておりました。 評議員会は、 目に入ったのは手入 お二人の支

家 雄

平成23年度 同窓吾峰会事業報告

1 大会の開催

(3)

(1) 同窓吾峰会二本松大会…東日本大震災で次年度へ延期。

2 会議の開催

- (1) 評議員会…平成23年7月9日出
- (2) 監事会…平成23年5月18日(水)
- (3) 理事会
 - 第 1 回…平成23年 6 月23日(木)
 - 第 2 回…平成23年12月 5 日(月)
- (4) 常任理事会…臨時1回、定期3回開催する。
- (5) 積立金管理運営委員会
 - 第1回…平成23年5月19日(木)
 - •第2回…平成23年11月5日(水)
- (6) 組織強化委員会
 - •第1回…平成23年6月21日(火
 - 第 2 回…平成23年11月22日(火)
- (7) 会報編集委員会…各号 4 回ずつ計 8 回実施した。
- (8) ホームページ委員会
 - 第1回…平成23年6月1日(水)
 - 第 2 回…平成23年 9 月 8 日休
- (9) 事務局会…平成24年2月23日(木)
- (10) 総務部会…年間15回

3 会報の発行

「吾峰」第127号…平成23年9月10日発行 第128号…平成24年2月15日発行

- 4 ホームページのアップロード
 - 第1回目…平成23年9月
 - 第 2 回目…平成24年 2 月
- 5 研究奨励事業…大震災のため募集を中止した。
- 6 会員の慶弔
 - ・長寿者への賀寿贈呈…21名(満95歳)
 - ・逝去者への弔慰金奉呈…156名(平成24年3月末日現在)

7 母校への支援・協力

- ・福島大学附属四校園(附幼・附小・附中・附特)の研究推進の後援
- ・福島大学人間発達文化学類の諸事業及び大学祭等への後援
- ・ホームカミングデー 平成23年10月30日(日)
- 3 入会歓迎
 - ・平成22年度卒業生を励ます会…平成23年8月13日出
 - 平成23年度卒業祝賀会…平成24年 3 月26日(月)

の贈呈式があり、その後に の贈呈式があり、その後に でに説明されました。 電災義援金の現状が懇切丁 でに説明されました。 大震災及び原発事故により大きな被害を受け福島県 からの義援金支出は当を 大震災及び原発事故により、福島大学の呼 でかけにより、福島大学の呼 でかけにより、福島大学の呼 でかけにより、福島県の教育が危機的状況に陥った。

県教育振興計画の見直し・ と実施・児童生徒教員、 で、報告がありました。 と実施・児童生神子の にでは、 で、報告がありました。 で、報告がありました。 で、報告がありました。 で、報告がありました。 はと実施・児童生徒教員の で、報告がありました。 で、おり、教員確 に、報告がありました。 で、報告がありました。 のかア・教育特区の設定 が、表別的展望に が、表別的展望に が、表別のでは状 では状 では状 では状 のいて詳細 をにより、教員確 のいて詳細 をにより、教員確 のいて詳細 をにより、教員確 のいて詳細 をにより、教員確 のいて詳細 をにより、教員を のいて詳細 をにより、 のいては、 のいでは、 のいな、 のいでは、 のいでは、 のいな、 のいな、 のいな、 のいでは、 のいでは、 のいな、 のいな、 のいな、 のいな のいな、 のいな、

> おります。た評議員会に出席させ 実した喜びる同窓の皆さ 強多開め く催る同 窓適備 願のさた窓 の時 同れめ لح 皆的の から感謝いたして 会に出席させてい 会に出席させてい の再会に充 で窓二もでもて 確 興 6 な情 を おります。 生が集うことを こ本松大会には での絆を一層深 で進 の報しめ 再をた。 る体 もら 制 っ充い 0

平成24年度 同窓吾峰会事業計画

1 大会の開催

- (1) 大会事前打ち合わせ会…平成24年6月8日倫二本松市
- (2) 同窓吾峰会二本松大会…平成24年10月13日出

二本松御苑

2 会議の開催

(1) 評議員会…平成24年5月19日(土)

福島大学人間発達文化学類大会議室

(2) 監事会…平成24年4月4日(水)

福島大学街なかブランチ舟場研修室

- (3) 理事会
 - 第1回…平成24年4月27日俭

福島大学国際交流会館多目的ホール

• 第 2 回…平成24年11月予定

福島大学国際交流会館多目的ホール

- (4) 常任理事会
 - 第1回…平成24年4月13日金

福島大学街なかブランチ舟場研修室

• 第 2 回…平成24年 9 月予定

福島大学街なかブランチ舟場研修室

• 第 3 回…平成25年 1 月予定

福島大学街なかブランチ舟場研修室

(5) 各支部事務局長会…平成24年8月18日出

福島大学人間発達文化学類大会議室

- (6) 積立金管理運営委員会
 - 第1回…平成24年5月8日(火)

福島大学街なかブランチ舟場研修室

• 第 2 回…平成24年 9 月予定

福島大学街なかブランチ舟場研修室

- (7) 組織強化委員会
 - 第1回…平成24年5月31日休

福島大学街なかブランチ舟場研修室

• 第 2 回…平成24年10月予定

福島大学街なかブランチ舟場研修室

- (8) 会報編集委員会…各号 4 回ずつ計 8 回実施の予定
- (9) ホームページ委員会
 - •第1回…平成24年月日未定

福島大学街なかブランチ舟場研修室

• 第 2 回…平成24年月日未定

福島大学街なかブランチ舟場研修室

10) 事務局会…平成24年4月4日(水)

福島大学街なかブランチ舟場研修室

•第 2 回…平成24年月日未定

福島大学街なかブランチ舟場研修室

(11) 総務部会…随 時

3 会報の発行

「吾峰」第129号…平成24年8月1日発行予定 第130号…平成25年2月15日発行予定

- 4 ホームページのアップロード
 - 第1回目…平成24年9月
 - 第 2 回目…平成25年 2 月
- 5 **研究奨励事業…**募集開始 平成24年 5 月19日出 応募締切 平成24年 9 月20日休
- 6 会員の慶弔
 - ・長寿者への賀寿贈呈
 - ・ 逝去者への弔辞・ 弔慰金奉献

7 母校への支援・協力

- (ア) 福島大学附属四校園(附幼・附小・附中・附特)の研究推進の後援
- (イ) 福島大学人間発達文化学類の諸事業及び大学祭等への 後援
- (ウ) ホームカミングデー 平成24年11月4日(日)実施予定

8 入会歓迎

• 平成24年度卒業祝賀会…平成25年3月25日(月)

ウエディング・エルティ

·クールバスで、

子どもたちは、十二台の

れの避難住宅から、

帰村のための引越し)。

翌年三月下旬…郡山

市

給食を頬張る生徒達の顔を

らかに違う。別人二十八号 疲れ切っていた自分とは明

く違う自分がいる。避難で

「やっとここま

四月六日…村にて入学式

感慨ひとしおでした。

で漕ぎつけた」と、職員も

もたちがいる。

常に目の前に子ど

を触る一年生がいる。「

「がいる。「手の抱きつき髭

いた。昨年と今年と、そのと教えてくれた校長先生が

とともに、

関係の拡充、

第 129 号

今だからこそできること」と 今だからこそしなければならない 飯舘村立臼石小学校長 二谷 京

子どもたちは様々な思いを しています。 ら、今、明るく毎日を過ご 温かい支援をいただきなが いは世界中の方々からの 日本中、あ れています。 校合同の活動を多く取り入 活動の効果が上がるよう三 分かれていますが、学習や 臼石小学校の南校舎と飯樋 小学校の北校舎との二つに

年と三か月が経ちました。

の三月十一日から、

けて通学しています

また、仮設校舎は、草野

学校は、隣町の川俣町 儀なくされ、村の三つの小 た飯舘村は、 的避難区域の指定を受け 年の四月二十二日に計 全村避難を余 ができるようにすることを 制限も解除し、放射線等の できるだけ通常の学校生活 安全面に配慮しながらも、 今年度は、屋外での活動

すが)

振り返ります。(単純に年からのあゆみを時系列

-からのあゆみを時系列で

業務を再開。

初に、川

内中学校の昨

現できるものではないの

で

生活の際には、

物心両面で

年間の郡山

市

への 避難

校を開校しました。

昨

年一年間は、

校舎に移り、臼石小学校、 坂地区に新しく建てた仮設 校の一部をお借りしていま 今年度から川俣飯 川俣中学 方法の工夫、多人数での子 目指しています。 いる利点を活かしたティー ティーチングなどの指導 さらに、三校が集まって

俣町などのそれ 福島市や

での三校合同授業(1年)

ら川内村への物品等移

部損壊程度で校舎内には の被害は体育館屋根の 三月十一日…地震その

きな被害はなかった。 村避難を決定し、郡山 本校に受け入れた。 の避難者一〇〇〇人以上を 三月十六日…川内村は全 三月十二日…富岡町から

> 再開させることができまし 維持し、通常の学校業務を

約1/4になってしまいま

以前同様の組織を

本校の生徒数は避難

前

なりました。

瀬中学校に大変お世話

草野小学校、飯樋小学校の

|校合わせて二百二十名の

于どもたちが学校生活を送っ

瀬中学校にて、 グパレット) (授業) を開始。 四月十四日…郡山市立逢 へ避難。 学校業務

ビ 食も再開し、 月半ばには部活動や自校給 顔があふれております。四 嬉しいもので、校内には笑 え、やはり故郷での生活は 数が減少したとは言 おいしそうに

らこそしなければならない る川俣町についての「ふる らこそできること」と安全 の心のケアなどの「今だか の育成、子どもや保護者へ さと学習」、感謝の気持ち 舘村や今お世話になってい 教育の充実、離れている飯 校との交流などの「今だか ども同士の学び合いや人間 川俣町の小学 組んでいるところです。 くために、教職員一丸となっ しい子どもたちを育ててい 福島県の復興を担うたくま なく、これからの飯舘村や ますが、それに甘えること て教育を進めています。 避難の状況は継続して の二つに視点をお

ありますが、

生徒達、保護

0

状を発信しておりま

県内会員の皆様、遠方の

近くにお越し

生活への若干の不便はまだ

かもしれません。それゆえ との戦いの最前線と言える 員住宅に居住しております。 う意味を込めて、村内の教 生徒の家庭と共有すると

この地はやはり原発事故

相馬支部

(昭五五卒

を挙行し、以降通常の学校 れば幸いです。私自身も双 おりますのでご覧いただけ の様子はホームページにて 指して努力しております わせ、「普通の学校」を目 者の皆さん、 そのような川内村の日常 職員と力を合

内中学校

の現状

俊

葉郡の数少ない常駐アマチュ 無線局として川内村の現

会員の皆様、 お運びください。そしてま の際はぜひ、 川内村に足を

活に触れてみてください。 だ終わらぬ「最前線」の生 双葉支部

Щ 則

に尽きるよ

食を見た。心が癒された。 どもたちや教職員で金環日 品を見せてーっ。」とお 気で絵を描く四年生。 だりする三年生がいる。 で司会をてきぱきとこなす 本

ぱいだった自分に「子ども はそれだけで最高だべ。 中学生。そのことだけで、 【教師冥利に尽きるよ】 ちと学校があれば、教師 転勤で不満いっ

楢葉町立楢葉北小学校長

五月二十一日(月)は、子

I'm fine. 元気ですかー。」

悶々としていた昨年とは全 今、学校経営が出来ずに 六年生。そして、それを見 守り、責任ある行動をする

その人の立場を考えないと を励ましに発したと思うが、

修復は正常な食生活によっ 修復を行っています。この

わす会話は、今思うととて近所の方々と朝に夕に交一層疲れさせてしまう。

岡

た 来て ... つ

加わりました。

負に 更

けら

健

康を蝕む

要因がま が、 ここ

とが記されていました。 に身を包む日々であったこ いと思いつつ、冷たい毛布 夢であって欲し 日記に目をや していた

県ナンバーの方が我々の作を出していた。この時、他いと、家に戻った数人と手でも感謝の気持ちを伝えた く車で入り込み、 業の様子を写真におさめた そして四国の皆々様に少し 来てくださった沖縄・九州 瓦礫の片付けに

しなくちゃ」と囁いて。 方は車から降りてパチリと、 命あっただけでも良しと 頑張ってね!」と。 この二つの言葉は、我々 また、午後に来た他県の 内外を問わず他の物質と接 たいです。私達の細胞は、 し傷つき、癌化しないよう

日常生活を見直す機会にし

しましたが、改めてこの際ど毛頭ない。喫煙を例に出用を産み出していることな も放射能で人生滅茶苦茶に変な喫煙者がおります。彼ねばと思う。私の近くに大 たものが奪い去られている されたと怒っています。 とに気づかせています。 観から得られた力のあるこ ためこう思うのです 子供も賢く生きる術を学 を加えてきた。原発事故 タバコと放射線で相乗作 文科省では、放射能教 れてきたことが分か その基礎になって す。人生 彼大ば 11

復旧作業

(5)

あるいは趣味・特技を身に 最愛なる家族に支えられて、

第 129 号

ても、

「人生滅茶々々にさ

の心を培う源です。

今になっ

も大事な価値ある助け合い

耳にします。その方の命は

れた」「一層あの時~」を

関

本

く。 うなったかな。 の下に埋れてしまったか。 いうのがあった。 ディが聞こえる。懐かしい。 微かに「智恵子抄」のメロ そう言えば、土曜日記と 深緑の苗そよぐ畦道を歩 阿多多羅の風に乗って、 潰れた小屋 あれはど

え。みんなふぐしぐなっかの有力者。「出稼ぎも、田で泥んこになっこどもねだった。 K君の父親は、町はあの頃まのほこともない。 田田で記んさに書いたのはあの頃 ら」「爆発したらこまっぺ。 ら」と集まって酒飲みなが すけねえ。ふぐしぐなっか から、此処にはおぢね。さ 起きねど。万一起きても、 方ねえのか」「爆発?絶対 おらほは一山三文だから仕 ビで、記者に 学校の入学式はなかった。 生の一人が、ほほを赤らめ 新入生がいなかった。テレ いいから入ってほしい。一

「来年は一人でも

ていない。

傷は益々深

あれから一

年

聞かれた在校

今と、将来にどう応え、

い、責任を取るのかが問わ

前では、凛とした姿を見ないが、せめて子ども達

年を過ぎた今、 していかねばならないと、 思うので ことをいきおい痛感する。

楢葉北小

授業を受ける子どもたち

の原点があ

標の設定は難しいと考えまかざした指導では、学習目の低学年生程、線量を振りる す。

の方向を阻止するために、に大きく働くはずです。こ向かっての相乗作用は、更

大きく働くはずです。こかっての相乗作用は、更

1)

力を高めるための努力を推食生活の改善を行い、免疫

征 わき支部 司 ビール缶でご飯を炊く調理、ボールで作ったハードルや取り組みを見ていると、段い状況ではあるが、教師の りだ。そこには、自らも被実習等、手作りの教材ばか たらない。そこには、教師 災している教師の陰は見当 教育の機会均等とはほど遠熱い情熱でここまで来た。 葉町に関わるすべての人の勿論平坦ではなかった。楢 げた。ここまでの道のりは地に四月から学校を立ち上 いわきの銭田という工業団

成二十四年四月、わが町小小中校を開設。しかし、平月にやっと三春の地に富岡 の方々のお世話になり、九つかめなかった。たくさん国に散った。以後、所在が 子ども心に感じていたので 名の下、道の奥の貧困地だっ 「アトムズ・フォ・ピース」の 貧乏だった。そしてそれは あろうか。とにかくみんな 避難指示が出た。 のなる木の出来事であった。 た村里に、降って沸いた金 た。子ども達も県内外全 三月十一 虞と豊かさへの憧れを 日の翌日の朝、 みんな逃

> 鎖が今の楢葉の教育の原点た。安心の笑顔がまた教師 空高くー。」 復興のためにとにかく色々 舎にこだまする。 だ。 楢葉町の学校に来て良かっの表情がすべてを物語る。 ながら。 と教えていきたいと強く思う。 と元気な歌声、 大きく育てたい。双葉郡 八きく育てたい。 双葉郡のこの子どもたちを何とか 教師冥利」を噛み締 の音が校

昭五五卒 双葉支部

えのように思える。子ども たい〝打算を持たない小さ〝いっしょに勉強し、遊び もった目ではっきり述べた。 方が定かでない子もいる。 は大きい。ごく当たり前の、 なこの子の一言が持つ意味 未だ県外でお世話になって 町の小中学生は、七十人。 因みに、千四百人いた本 かし、身体の芯からの訴 五百人。行 ず、前への一歩がよっこ、 何 かべき道が見えない。自身 へ ししょしたしのだが、進 られまい。絶体絶命の崖っけったと悲しんでいてもお神の怒りがあまりにも大き神の怒りがあまりにも大きいたと悲しんでいてもおがな出せない。しかし、何ず、前への一歩がなかなかず、前への一歩がなかなかがない。 どう生きるか。このまま ぷちにあることに変わりは より強く激しくなっている。

いる子が四割、

同窓吾峰会HP

0.29

0.28

0.16

0.14

0.33

0.35

か。

津波の被害をうけたも

0

れずに残った自宅 けの毎日だったと

測定場所

和室(1階) 本宮市S宅

和室(1階)

洋室(2階)

菜根K宅

物置場

の後片付

います。

۲

口

これほど、

人の支えがあっ

金や支援を沢山頂きました。

れました。全国からも義援

アの方々や連絡をくれた友 手伝ってくれたボランティ

・知人には本当に励まさ

除染実験後:下欄)

-3/5

0.43

0.32

0.33

0.26

0.52

0.46

0.46

振り返るようになりました。

最近よく震災当時の事を

住宅で生活しています。

0.32

0.30

0.22

0.18

0.33

0.32

0.43

0.43

居して一ヵ月ほどでしょう 昨年の今頃は仮設住宅に入

なっています。

学校を含めた公共施設の

年度から使用可能の状況に

に実施し

ール使用についても、 一時間制限から解放され、

今

また、

屋内除染を実験的 除染前・後を見

くか上回っている状況です

題は、

各家庭だけでなく地

域が協力し、屋外の本格的

がらの散歩である。

ネ線量は○・二三uSv/h近これによると、屋内の放

吾

除染問題です。

課題は、

空間放射線量は、

ー~〇・五 量は、表土除 の校庭

禁止の状況は続 被害は甚大で、一

いています。 放射線量•

染前の数値近くに戻ったと

六○分後に再測定すると除 が見られても、除染三○~

部立ち入り

uSv-U.

しなり、

応安全

な

た。

去の結果〇・

※国の基準0.23 μ Sv/h

除 染 方 注 (測定機種名) 法

単位 μSv/h

取り組んでいます。様々な努力を他に先駆けて

数値を紹介します。

小中学校の屋外活動は、

心・安全の確保を最優先課

宅の屋内除染前、

事故直後から、

放 射 現 実

H

まされている現状です。 地域の生活が大きく変 放射線量に悩 家庭•学 山支部長 場所となって 中

郡山市では、 ここで、

子どもの安 ある家庭・地域の除染は対し、子どもの生活の中心で 策が始まったばかりです。 が実験的に実施した個人

市内の一教育団 、ます。

カン 件によって放射性物質が屋 に山の 様々な条

きないが、大半は屋外に存 内に存在することは否定で

回

射線量についての結果の 除染後の 八 〇 m の飛散距離は、 られるものと考えられ、 在する放射性物質から発せ

くる。」とのことです。 よって違いがあり、障害物、 温度等の条件で違いが出て 六○mなど学者に

()

朝決まった時間に起き、

このことから、今後の 課

する。

震災前は、海を見な

まぐれに道をとり、

散歩を

その日の気分に合わせて気

ままの平地か或いは一部メ

地帯に変わり、

低地は今の

がらの散歩であったが、今

り組んでいます。 と除染計画」 ル地域を決定し、 な除染が必要ということで 市では、 を策定、 「郡山市ふるさ 除染に取 モデ

> 落ち着くひと時がある。 どちらにもそれぞれに心

歩 な

由を

れを除くとあまり変化はな 移転先の隣の町に住んでい 住む所と家を失ったが、そ 避難前と後での生活は、 の震災により町役場の 年になるが、 住宅地は頑丈な防波堤と緑思う時がある。以前あった 持ちで毎日を過ごしている。 時々、 至る所に青山ありの気 どうかは未定であ わが郷里の未来を 廣 光

が進み、住宅が建設され少大平山の周辺は徐々に開発

偲んでいる。

数十年かけて

戸の人がそこを訪れ昔を

時々、遠くに移転した

後世に伝える碑

などが

が移り

近くに

しずつ人々が住み始める。

ガ・ソーラー 基地になり、 来エネルギーの電源供給基炉に向けての関連施設や未工業団地になり、原発の廃しまして、周りの山は崩され いか。 ぎるが、 地に変わって

公園には津波と原発の事故 の高台は公園になっている。 海から二キロ離れた大平山

は山脈(やまなみ)を見な 海と山

を失い、原発で帰る地域を

新たな

波で住宅や土

あれから一年三か月が

行くのではな

周りの緑は深く田圃の景観 先は、北西の方角に見えて 再び砂浜を散歩できる日が 汗が出て快い気分になる。 では大きな違いがあるが、 雲に隠れ全貌を見 しかし、 並みは、 は 春が

> むことを決断する時期に 土地を自分で見つけ移り 喪失した被災者は、

来住

原発被災地区のどこに戻る

ているのではないかと思う。

最近は、

た安達太良の山

ることは少ない。

昨年4月6日自宅付近から宮古湾を臨む

震災から一年 から が経ち 年 腐った海水の臭い、 郁

拭

も良く

歩くほどに体に

達が亡くなりました。 家族も被災し、 津波で伯母や近所の人 現在は仮設 私達 くる泥。ヘトヘトになるまで いても拭いてもどんどん出て

潰されそうになりました。 先の見えない苦しさで押し 作業しても一向に片付かず、 そんな時、 笑顔で作業を

とはありません。

て生きていると実感し

でも、現状としては震災直 るようなことはありません。 今では、 苦しさで辛く



今年の6月 上と同じ場所

ある。 つも頭から離れないことではないと思っているが、い歩をしながら考えることで これからのことを考えたい と思っている。(本宮にて) 安達太良の山脈を見ながら、 周りの景色や景観に心を傾 生のひと休み所と考えて、 りと言われるが、 るためには決断の第一歩で な選択であるが、 人生至る所に青山あ 悠然とした気持ちで 大きな問題であり散 ここは人 再出発す

そこを離れるかは大き

で

再を道た

玉

ほ頂等

かがに送

といご支援といい。

に全ん

で電み

元片生そ礎

柱がり高ま

と広れ台

瓦雑がは、対応の対応に対応がある。

長でにれだし町区のあいます。

0

れに

0 つ

るなす

7

5

上害上かと てスの を 0 いク児受家 一童けが津る。 ルが 、現 バ ス 仮在浸よ も、以り、

よけ 童おかの 7 き が陰には るなにた。 す ん校かあ 全、報員四を だ。 つり幸か 1 日のた。 域 いル波の 0 無百発 津にま もで子がの大 ょ ま波 してく たの 、被学 場 0 で 団も、、被学し周大が、嬉少地害校寄辺震 PU. は国

たのれ細しな震はがせの災こ児たやいくに受高て約に

放心の揃校品字い わこ 生 動護 0 を者低射か方える行のい線られる たの活 子 に ど戻い協状量感の 0 つ震のに つ災も 5 あ学 7 があ前と り、区内 11 る。 内 0 よ除市は

向

定族り 屋れた をな自 見り宅

とし時いて てのつい殺そ い語事かか れ安 れを ま で 苦け前 \$ でそんり しかっ か来れ 岩手県支部 思 ればいた震災 7 い生 生活し を

は時

す修せけ新

で埋ん。

な間多

はまかはは

をく

確いの

る新の地設 不区 のし 人津気の波持 \$ あ活居のち な恐に家く怖なに で るなもり 0 かたり、 元 の近し

福島大学人間発達文化学類同窓吾峰会 研究奨励事業研究募集要綱細則

平成23年7月9日改定

1. 研究物・学術論文等の内容、体裁、形態等

- 研究内容 (1)
 - 研究内容の計画段階のものでなく、ある程度まとまったも ので、かつ研究内容が一定レベル以上のものであること。
 - オリジナルなものであること。ただし、次のものは除く。 ア. 国または県レベルの行政機関や団体等の研究指定により、 奨励金、助成金、補助金等を受けた年度から、 2 年以内の
 - もの。 イ. 国または県レベルの行政機関・団体及び本会研究の受賞 後2年以内のもの。さらに、受賞研究からの積み重ねが明 確でないもの。
- (2) 体裁 形態等
 - ① 体裁は自由とするが、研究の動機または目的、方法、結果、 考察または結論、参考及び引用文献等を明らかにすること。 なお、論文は資料を参照しなくとも研究の概要が理解できる ようにすること。また、添付資料は厳選し、必要最小限にと
 - ② 形態は、出版物、原稿などいずれでもよい。

応募の手続き

- (1) 研究奨励事業に応募する者は、支部事務局または本部事務局 から応募票(ひな型をコピーしたものでよい)を受け取り、必 要事項を記入のうえ、応募票と研究物を9月20日迄に、支部事 務局に提出すること。応募票には応募者氏名、研究題目などの 他に、次の項目について必ず記入すること。
 - 現在までの研究概要 1
 - この研究の将来展望
 - この研究が学校教育、社会教育等に対して果たす役割。た だし、教育実践研究の場合は不要である。
- (2) 各支部は、会員から提出された応募票及び研究物を取りまと め、それぞれに支部長の推薦理由を付し、推薦者の職・氏名を 記入し、職印を押して9月30日迄に吾峰会事務局(福島大学街 なかブランチ舟場内)に送付すること。
- (3) 現職者の場合、上司の推薦があった場合でも上記(1)、(2)の手 続きをとること。
- 上記(2)の日時が土曜日または日曜日にあたる場合は、翌週の 月曜日を締切日とする。

選考、表彰式、返却等

- 入賞候補選考は10月初旬に人間発達文化学類長に依頼し、そ の結果を12月下旬に受領する。
- (2) 最優秀受賞者を対象とした研究奨励事業表彰式を吾峰会事務 所において1月下旬に開催する。
- 応募研究物は表彰式後に返却する。

福島大学人間発達文化学類同窓吾峰会 研究奨励事業研究募集要綱

き

五いけ

昭和55年6月23日制定 平成21年5月16日改正

1. 趣 旨

養島 島県 村

寸 年

会則第4条第5項の規程により、 吾峰会員の研究を奨励し助長するた め、会員より研究物、学術論文等を 公募し、すぐれた研究を表彰する。

2. 応募資格

応募資格は、吾峰会員とする。た だし、グループ研究の場合は、応募 責任者が吾峰会員であること。

3. 研究の対象

研究の対象は次の分野とする。

- (1) 学校教育・社会教育等に関する 学術的 • 専門的 • 実践的研究
- その他の分野における学術的 専門的・実践的研究

4. 入賞件数

原則としてすぐれた研究を最優秀 賞、それに準ずる研究を優秀賞とし、 副賞を贈る。

- (1) 最優秀賞 2 件以内(個人また はグループ) 1件につき副賞10万
- (2) 優秀賞 若干件(個人または グループ) 1件につき副賞3万円

5. 入賞候補の選考

入賞候補の選考は、福島大学人間 発達文化学類長に依頼して行う。

6. 入賞の決定

人間発達文化学類長の選考に基づ き、会長が入賞を決定する。

7. 研究成果の発表

入賞者は、その研究の成果を、会 報「吾峰」及び「福島大学総合教育 研究センター紀要」に掲載するなど して、一般に周知する。

8. 応募の手続き

応募の手続きについては別に定め

※表彰式名称

研究奨励事業入賞者表彰式

を年た成 定を た開 切 が 早 た左 たことに注意//左記のとおり

年

日

菅

野

全

郡

山

渡

辺

政

枝

樣

郡 山

袁

木

登美子

様

治

丰

ン

様

(福島)

賀平寿成

贈呈者から二十三~四年

めでとうございます

教え子たちに

SIT

昭

生



渡

邊

紀

位

様

(安達)

和

気

花

様

(いわき)

のたびは、須賀紀一支部長様においていただき、賀寿のお祝いをいただきました。と、大変ありがたく感激いたしておりまで、吾峰会の皆様方に心より感謝申し上げます。ありがとうございました。昔のこで懐かしく思い出しております。皆様にけます。



趣味として短歌を若い時代より書いており、「新しき明日」の書名で本を出版されておりました。本の中から一首「九十五歳を迎えし恩師に電話する平和を共に生きるあかしに」



ご本人は入院加療中とのことで、 評議員の田中進様よりお嫁さん^ お渡ししてお願いしてきました。







加つやもよく、しっかり歩き、大変お元気でした。「塙町内にあるデイケアサービスにピアニカ持参で毎週慰問に行くことを楽しみにしている」とのこと。



(東白川) 鎌

H 久 樣 郡 Ш



自宅を訪問し、本人に賀寿状と記 念品をお渡ししました。「趣味の折 り紙や書やクロスワードパズルなど を嗜み、手や頭を使うことが長寿の 秘訣だ。」とのことでした。

自宅を訪問し、本人に賀寿状と記念品をお渡ししました。「一生に一度のことなのに、息子さんのお嫁さんが同席出来なくて残念。近くのスーパーに買い物に行くのが楽しみ。」とのことでした。

-tweller •

政枝様は現在施設で介護を受けておられ、直接お渡しすることができなかったので、ご家族にお渡しいたしました。ご家族のお話ですと、自分と教育には大変厳しい人であったが、家族はそんな母を尊敬していますとお話してくださいました。

山ノ内副支部長と穴澤事務局長が ハーモニーあいつを訪問し、喫茶コーナーで伝達を行いました。 言葉も 明瞭で立派な御礼の言葉をいただ きました。 充実した毎日を送ってい るとのことでした。



くつながる

50周年の今

1960年代 大鳥中学校教員有志 阿部昭生 菅野悦雄 山田容子 丹治英雄

- がな作 - 間作品趣 - 社品を味 が展 たことも 困の ることであ といるだろうとない 大震災の渦中で で期間 なっ り、 たちも、 7 何 1) L品展であった いを持ち寄った 、る教え子 やり よ 0 この大震災で 家族や地 り っは あ取 制 た とる。 の過中で、様々ないの温中で、様々ないと考えた。 かや地 り、材報 たち 勢 労の教えて が 大日間 大日間で 大日間で 当 か 域 還 へで苦労 0 5 える子してく 1) 0 た開れ元かい



陶芸)と私

(書道)

ふくし

ラリー

大吉先生に

品

0

ラーだった 会場は**、**

雄さん(昭三六卒)) (写真)、 教師仲間だった数坂町立大鳥中が っ場のこ 治 た。 の同僚たちと作品二月中旬、五十年 英 雄 さん Ш 田 た菅 容子 学校 昭 \equiv 絵野の ちい

をにのんのさ ま I

ることができた。 私たちの方が大きな く頑張っている逞し | 災の苦しみに 教え子たちの る作品展であったしている。教師同 している。教師でいのこの企画は、いのこの企画は、 の苦しみにも ている逞し な大 0 卒 は、 姿で 8 冥利に れたと感 励 福島支部 がばる事 逆に ます な力を貰 あ 成 い姿に、ける事なある。震 私ね 激たら

避難先の二本松市でも絵画の創作に励む志賀さん

福島民報より

93歳

浪江から二本松へ、県美術協会員

ヨシさん

が一巡りしたと感じた。

達太良山の油彩画は、昨年

安で落ち着かない中、無性 基に仕上げた。「恐怖と不 る近所で描いたスケッチを

部屋の一角に置かれた安

「年を取るのも忘れる」

No 126 K Tチさん」の作品掲載



避難している県美術協会員の志賀ヨシさん(元)は、季節 る。近くの山々には柔らかな日が差す。東京電力福島第 原発事故で浪江町から二本松市油井の雇用促進住宅に 安達太良山は三月半ばを過ぎても中腹まで雪に覆われ

ッチを続けた

(後略)

何もないので百円ショップ で絵の具などを買ってスケ に描きたくなった。道具も 安達太良山の大作完成

陸上女子40障害代表

選ばれ、新潟市の所属 日、ロンドン五輪女 日本人初となる決 に育ててもらった。結 をにじませた。 果で恩返しする」。 場となる五輪への決意 福島

(以下略)

美選手(Eo)—新潟アル 先で会見した久保倉里

う丹治さん

福島民報より 石月二十四年 ルで開かれた。 区の東京プリンスホテ

謝辞で一層の精進を誓

恩返

丹治さん(出本地)を祝福

書で県外在住功労者知事表彰

外在住功労者知事表彰一の書家丹治思郷さん 平成二十三年度の県 を受けた二本松市出身 (へ)=東京都=を祝う 会は二十日、東京都港

福大HPより

○記事は6月12日 福島民報より転載 ○記者会見写真は6月19日福大グラウンドで川本監督同居のもとに

は声を出して泣いた。 している福島大陸上部 込み上げ、久保倉選手 符。さまざまな思いが やった」。福島に支え 寄り祝福した。「よく しれ、チームに見守ら 川本和久監督が駆け レース後、長年指導 て勝ち取った五輪切

員がきちんとやります。素

話の前後のおじぎも全

宣で何事にも一生懸命取り

また、話を聞く態度も立派 が校舎内にこだまします。 ございます」「さようなら います。特にあいさつがす ほど歩いて通学する児童も 中には片道三キロメートル して学校に通っています。 の登校班に分かれ、嬉々と

朝夕「おはよう

名にふさわしい場所にあり

根山を望み、 北に秀峰移ヶ岳、

まさに美山の

南に方曽

した田村市立美山小学校は、

私が新任校長として着任

層鮮やかになってきました。 面を飾る校名の花文字が一

月でした。

田村市では、「あいさつ、

夏を迎え、

北階段の法

感動と校長としての使命感

を一層強くさせられた三ヶ

ます。今年で創立百三十九

舎は平成十二年に新築され、 年を数えますが、現在の校

徒を育成すれば、学校教育

の目標である「確かな学力」

に思って行動できる児童生

吾

のある建築になっています。 ふんだんに使ったぬくもり

全校児童七十七名が十二

堂等を備え、「田村杉」を

をバランスよく、かつ高い

豊かな心」「健やかな体」

レベルで到達が可能になっ

本校児童をみてみますと、

です。

全校生が一同に会食する食 オープンスペースや図書室、

新

たな出会

()

中

田村市立美山小学校長

大舟木

茂

夫

心に届く自然体験・社会体 るように思います。よって、 いかにして質の高い学びや 本的な躾は大分なされてい してはいけないこと等、基

域と連携していくかが大事くか、どのように家庭や地 道徳教育等を施してい たいと思います。

昭五五卒

田村支部

歩一歩確実に進めていき

ます。

なければならないこと、

になっ

てくるものと思わ

徐々に 果が現れること

を楽しみにしながら、その 略を職員と大いに語り合い、 実現に向けての具体的な戦

H 々

あたり前のことをあたり前 習慣の定着を図ることをね そろえる…」等基本的生活 返事、時間を守る、くつを ル10」が掲げられています。 いとして「田村っ子のルー

郡山市立大田小学校教頭 ございます。」 一おはよう 朝、子ど

職員室や校長室に顔を出し、 もたちは登 校すると、

今日も○さんは元気だなと、 あいさつをしていきます。 職員室にいながら、朝の健 康観察ができるほどです。

る梅や桜の古木・名木がた

テレビや新聞に紹介され

教育理念が根底にあります。 てくるのではないかという ました。完全複式の三学級 七名の新学期がスタートし を迎えました。 今年度は、一人の入学生 全校生で十

美しい山々に囲まれた校舎 事です。大田地区に伝わる さんも楽しみにしている行 者はもちろん、敬老のみな 会です。子どもたちの保護 みなさんと一緒の連合運動 存会のみなさんの手ほどき 「大田やぐら太鼓」を、保 運動会はもちろん地域の

> 坂 本

ます。このおどりのために、 みなさんが輪になって踊り 自前の衣装を持ち込んで、 笑顔で包まれました。 おばあさんも張り切って踊っ てくださいました。校庭が

します。 春を彩ります。三春町の らこちらに立派な桜が里の を漂わせ、また、 紅白の梅の花々が良い香り の梅を生かした「梅ロード」、 ニホンミミズクが鳴き交わ 滝桜」もすぐ近くです。 ョウがさえずり、夜には キジやホトトギス、ガビ 町のあち うことは、 校がお世話になっている業

くさんあります。地域特産 や地域の方々に、そして学 りに目を落としているときは 先生方に、校外では保護者 内では校長先生をはじめ各 ているということである。校 の言葉をこれまで以上に使っ その美しさに気付かなかった。 に美しい。机上の書類ばか この立場になって最近思 自分自身が感謝

学校である。五月の芽吹き 衣を纏い、抜けるようない たところにある緑に囲まれた 堂」から車で三分ほど走っ わきの青空と相まって本当 の頃、山々が一斉に新緑の 本校は国宝「白水阿弥陀 続けるように力を尽くしたい。 新たな立場で学校の仕事を えられていることを改めて実 謝しながら、本校が地域に 校に関わる多くの方々に感 させていただいたことで、 感している。このことは、 はなかったように思う。そし 開かれた楽しい学校であり うことだと思う。今後も学 自身の視野が広がったとい て、学校が多くの方々に支 たくさんの方々と関わること 合っているときは、これほど 級担任として子どもと向き 新米教頭として、まだま

私

わき市立白水小学校教頭 服 英 昭

わき市へ赴任した。 二週間ほどは 教頭先生。」 今年四月、教頭としてい

周りを見る余裕も出てきた。 れ、子どもたちや地域のこ こととは気付かずに返事 とが分かってくるにつれ、 できないことがあった。 と声をかけられても自分 次第に新しい環境にも がの

感謝の意を伝えている。

変わりを楽しみに日々過ご しています。 (昭六〇卒 郡山支部 意を体して真摯に取り組み たいと考えている。 (昭六一年

いわき支部

ちがたたく太鼓で、 で練習しました。子どもた えていなかったことに気付 の様子や大田の自然の移り きます。子どもたちの成長

の成長の過程はこれまで見

毎日校庭を見回っている

者の方々に、

気がつくと

であるが、

+名の元気あふ

だ仕事もおぼつかない自分

「ありがとうございます。」 と

職員のために、校長先生の れる子どもたちと七名の

知っているはずの植物

いる。誤解をまねくことを 余すところなく活写されて の上品で、豊満な全姿が、

もはや一年も過ぎる。しまっ

行方不明一名。あの日から 藤沼湖の崩壊で死者十名、

たと思ったのは、吾報二

七号が届いたことである。

新聞やTVの情報による

像を好むと思われては困る。

(11)

いた志賀ヨシさんという私本音を言うと、この絵を描

及ばない時代差である。さ前の福師卒の私には考えも

動した。(昭和四六卒 岩氏の里遠望(長沼)にも感

その二、同員の力丸丈夫

写し出されている。古い戦





会員からの

おたより

吾峰会報第一二六・七号に関わることなど **0** 直

愛読者である一老耄のひとばがある。私は吾峰会報の たちの走る英姿がまぶしく 孫よりも若い女子学生さん 編集ぶりに感服した。私の て、その今日的な鮮やかな 一二六号をさっと覗い 自の正直ということ 5 師範があった。 師範卒。私にとって、福島 高い完成度に驚いたのであ る。この方はむかしの女子 市の松齢橋のほとりに女子 九二歳、しかもその作品の いの記憶。 見識らぬ作者は、何と満 ただそれぐ

がある。

志賀ヨシさん)の作品にい号(昭和一三卒・双葉支部中の「T子さん」油絵五〇中の「T子さん」油絵五〇 六号の最終ページ、「吾峰なふざけことば、実は一二たハムレットの台詞みたい か。などと、どこかで聞い峰会報に採用されるかどう んという若い女性のモデル たく感動したこと。T子さ この戯文が光輝ある吾 こと。志賀さんは双葉支部、 発の被害を。 あるいは大津波、または原 わゆる三・一一に関わりの は東日本大震災という、 二人を採りあげたのは、実 たく面識もない。さて、このお 昭和四六卒とあるからまっ しい教職歴をお持ちの方。 氏は私と支部を同じくする (岩瀬支部) である。輝か 瀬支部)とある。ちなみに 力丸氏は長沼、 1)

> 職の先生方のご苦労を思う。 作文、つまり「吾峰」誌は、 するところではないが、現 もはや老耄の私ごとき関知 作業が続いていると聞く。 放射能の汚染から除去する などと要らざるおとなの 表土を夏休みを利用して P 一の小 中学校

> > の正直。 だければ幸い。 に愚作一、二点を掲載いた 荒井孝先生のご配慮、証拠 ひとえに、在京の大江孝・ 曰く三度目

今年も東京吾峰展に参加。

会報一二六号のご縁から、

てもよいかなどと、

写真である。

岩瀬支部

会員同志の交流の場でもあっ

私の南会津植 物誌」発刊 に寄せて

な発見や作った標本・見聞 経た。その間にあって新た た。それから既に十三年を 有り難く、一層の励みとなっ た。誠に光栄であると共に 度「研究奨励賞」を受賞し 部同窓吾峰会より平成十年 (平成十) 年であった。そ の節は母校福島大学教育学 を発刊したのは一九九八 先に「私の南会津植物誌」 自然に生きる、多様な植物 部は変化に富んだ南会津の たものの一部である。第二 学東京牧野標本館に寄贈し 構成した。第一部は南会津 たので、この度「 の生態写真(カラーで三二 口で七三九枚)で、首都大 産の植物標本写真(モノク を主に全体を四部に分けて して本書を刊行した。写真 続編」と

主で、

きした多くの情報も沢山溜っ 会津植物 第三部は思い出の

これも須賀川市に入るが、

「続・私の南会津植物誌」の表紙 原本はカラー版

ございました。

八号のご恵送ありがとう ご多忙の中、 ました。 の絆の深さを考えさせら 改めて「大震災」同窓吾 「吾峰」

した。(有り様より強く)てきて、今回は重い会報で 言から人間文化の在り様へ の警鐘がストレートに伝わっ 支部長さん、現場発信の文 鈴木健一先生の一文から、 い。今回は写真集にして、馴染み薄かったかも知れな なす模様の中に、わがふるその『不易と流行』が織り 文化の発展は目覚ましいも道路・交通網の発達、生活 思い出を文章にまとめた。 習俗習慣など、特色のある た(また人々の努力によっ ぞれの処で得た研究や体験・ 三二枚)。第四部は地域別 里会津と牧野標本館を加え 無い豊かな自然と文化遺産。 の地にといわれた此の地も、 にコーナーを設けて、 た(モノクロとカラーで二 て残された)、掛け替えの 地、と言われたからこそ残っ のである。しかし、癖遠の 前回の著作は植物目録が 一般の方々にはやや それ 思っている。 に寄贈した。学校教育の上 かけになってくれたら、 る里の会津美里町にも同 校・図書(公民)館と、ふ南会津郡全域の小・中・高 時代こそ、身近な自然の中 びこれに勝るものはないと て、何らかのお役に立つきっ でまた生涯学習の伴侶とし で五感に訴えて生き物に触 特に好奇心の旺盛な子ども で頂けるようにと考えた。 子どもから大人まで親し

ヒットでした。不易なる絆 の姿を見せていただきまし ⑨絆特集は、クリーン大

真ではなく作品だと思いまのの吾妻連峰の雄姿、写 かなと思いました。 お名前があってもよかっ した。編集後記に撮影者の

一四・二・一八出 郵便はがき

福島支部

吾

T- 13	又 24 十 (0月1日	P	me (GOHO)		第 149 万	(12)
番号	支部名	支部長名	副支部長名	事 務 局	事務局長名	評議員名	会員数
21	栗原	藤原 諭	髙橋 孝夫・佐々木孝子	〒981-2302 宮城県伊具郡丸森町大張川張字宮田25 丸森町立大張小学校 ☎ 0224-75-2121 FAX 0224-75-2137	遠藤 実	藤原 諭 佐々木孝子	65
22	本 吉	内海 輝幸	荒川 進・齋藤 一	〒988-0141 宮城県気仙沼市松崎柳沢186 気仙沼市立松岩中学校 ☎ 0226-22-7158 FAX 0226-22-7159	榧木 喜一	菅原 輝夫 豊田 康裕	60
23	古川	菅原 利之	菅原 清志・藤木 伸生 江口 正徳・児玉 輝夫	〒987-0003 宮城県遠田郡美里町 南小牛田字石神53 ☎ 0229-32-3492 FAX 0229-32-3492	佐々木勝男	菅原 利之 佐々木勝男	111
24	山形	堀 泰治	矢口 勲	〒992-1443 山形県米沢市大字笹野1101 山形県立米沢興譲館高等学校 ☎ 0238-38-4741 FAX 0238-38-2531	猪俣 幸一	渡辺 俊三 小野 昭夫	80
25	千葉		森屋 博夫・横山紘次郎 長沢 睦男	〒273-0123 千葉県鎌ヶ谷市 南初富2-14-22 ☎ 0474-45-0755	宝玉 恒雄	森屋 博夫	370
26	新潟	白井 民司	堰 勝弥	〒950-2044 新潟県新潟市西区 坂井砂山四丁目9-11 ☎ 025-269-4022 FAX 025-269-4022	松井 等	白井 民司 松井 等	270
27	愛知	伊勢呂彰治	大高 和人・盛 浩一	〒491-0903 愛知県一宮市 八幡四丁目1-97-708 ☎ 0586-43-7284 FAX 0586-43-7284	山田 稔	伊勢呂彰治 山田 稔	30
28	岩手県	小野寺 寛	浅沼 清昭・高橋 一男	〒023-0828 岩手県奥州市水沢区 東大通り1-7-30 ☎ 0197-24-5147 FAX 0197-24-5147	本多柏一郎	小野寺 寛 本多柏一郎	108
29	北海道	市澤 豊	菊地 磯夫	〒002-8071 札幌市北区あいの里 1 条 3 丁目21-20 ☎ 011-778-7662 FAX 011-778-7662	帰家 雄治	市澤 豊帰家 雄治	24



百年史」より

さいっぱいのご様子でした。

さらに先生には六年間の会

の思いですが、先生のご遺徳弔辞を申し述べるのは、断腸 弔辞を申し述べるのは、断 を戴きたいときに、先生への の運営についてさらにご指導

重みをつくづくと感じ、嬉し

「同窓吾峰会

員名簿の発行、吾峰会大会な 長の間、会員の研究奨励や会

し、お別れの言葉と致します。 を偲び、謹んで哀悼の意を表

成二十四年四月十三日

意を配られ、

現在の会運

せん。

先生には平成元年本会の会

に痛ましく惜しまれてなりま

が、

現在は十数名から二十数

名の元気な会員が受賞され長

感謝を捧げます。

いものがあり、心から敬意と

ておられます。先生も一昨年 寿と同窓生としての喜びに浸っ

らいかに脱却するか、吾峰会

東日本大震災と原発事故

に賀寿を受賞され、この賞の

者はゼロから数名程度でした

献されたご功績は計り知れなこのように吾峰会発展に貢

かれました。設立当時、該当歳会員への賀寿贈呈の道を開

夫先生の訃報に接し、 ~六年)、現在の顧問 同窓吾峰会元会長(平成元年

色摩勝 まこと

福島大学人間発達文化学類

配られ、

顧問

中に立たされながらも、多く

方々が、

希望を胸に抱き、

さて皆様方に、あらためま

色摩勝夫様を偲んで

慶弔規定に満九十五 吾峰会会長 服

営の基礎・基本を固めてくだ (弔辞より)

えない事態となりました。被 ことのない混乱と困難の真只 げる次第であります。 害にあわれた方々に対しまし 松大会の開催は延期せざるを の方が犠牲となられ、甚大な 力発電所の事故により、 本大震災並びに福島第一原子 その後、これまで経験した 心からお見舞いを申し上 |なりました。昨年は東日||年ぶりの同窓吾峰会の開 ||本松大会に多数ご参加を! 同窓吾峰会二本 安達支部長 多く ます。 多くの会員が、いろいろな立 に励み、地域社会においては、 れぞれ勤務する学校現場にお私達の吾峰会も同様に、そ 歩みをたゆまず続けようと努 学校教育を支援し、吾峰会の 場から子ども達の健全育成や いて使命感を持って教育活動 歩、歩んできたところであり いう二文字に向かって一歩一 互いの絆を深め、「復興」と 人と人との結びつきを大切に 須 賀 紀

被害を被り、

催となりました。

めてきたところであります。 す。

二本松市金色久保二二二の を楽しみに、同窓吾峰会二本 地にて皆様とお会いできる日 様方を心より歓迎申し上げま 100二四三 (二三) 三九二 待ち申し上げるとともに、皆 安達支部会員一同、心よりお 支部皆様方の多数のご来訪を、 内状を送付申し上げます。 松大会のご案内といたします。 詳細につきましては、ご案 菊花香る十月、二本松の

各

平成二十四年十月十三日(土) ご案内を申し上げます。 (開催期日) て同窓吾峰会二本松大会の

二本松御苑

会

さいました。

平成24年度 同窓吾峰会支部組織一覧

(平成24年7月10日現在)

						(平成24年7月	10口光在/
番号	支部名	支部長名	副支部長名	事 務 局	事務局長名	評議員名	会員数
1	福島	白石 允宏	佐藤 捷善・関場 弘子 矢舘 清孝・野崎 修司 添田 和子	〒960-8114 福島市松浪町3-46 福島市立福島第三小学校 ☎ 024-534-3101 FAX 024-534-4503	土屋 悦男	白石 允宏 関場 弘子	2284
2	伊 達	菅野 弘明	鈴木 絢子·松浦 常雄 佐藤 由弘	〒960-0804 伊達市霊山町大石字三ノ輪27 伊達市立大石小学校 ☎ 024-587-1315 FAX 024-587-1331	佐藤 由弘	菅野 弘明 松浦 常雄	600
3	安 達	須賀 紀一	國分 長次・菅野 玲子 鈴木 隆雄・久賀 孝子 菊池 勇人	〒964-0904 二本松市郭内一丁目1 二本松市立二本松北小学校 ☎ 0243-23-0029 FAX 0243-23-0012	髙島 徹也	須賀 紀一 髙島 徹也	570
4	郡山	中村日出彦	大河原博美・佐藤 力哉 石塚 紀子・渡部 博志	〒963-8851 郡山市開成3-14-7 郡山市立開成小学校 ☎ 024-932-5299 FAX 024-932-5300	田中 靖則	中村日出彦 柳沼 秀雄	1550
5	岩瀬	高橋 専治	山野辺庄吉・渡邉 碩男 渡辺 英子	〒962-0861 須賀川市古舘70 須賀川市立阿武隈小学校 ☎ 0248-76-5135 FAX 0248-76-5323	渡邉 真二	高橋 専治 山野辺庄吉	431
6	石川	安倍 治男	車田 政美・鈴木 英孝	〒963-6315 石川郡玉川村大字中字前作田71 玉川村立泉中学校 ☎ 0247-57-2029 FAX 0247-57-4124	佐藤 俊久	安倍 治男 佐藤 俊久	182
7	田村	先崎 剛	山内 敏夫・柳沼 照栄 先崎 憲一	〒963-7759 田村郡三春町字大町157 三春町立三春小学校 ☎ 0247-62-3101 FAX 0247-62-3106	髙橋 正美	先崎 剛 髙橋 正美	312
8	西白河	長嶺 節	小河 弘義・菊池千代子 大楽 睦彦	〒961-0963 白河市日影2-8 白河市立白河第二小学校 ☎ 0248-23-3242 FAX 0248-22-1902	野口意千朗	長嶺 節大楽 睦彦	439
9	東白川	鈴木 正美	坂上 昭吾・奥貫 洋 吉田和賀子	〒963-5341 東白川郡塙町大字台宿字下川原5 塙町立塙小学校 ☎ 0247-43-0066 FAX 0247-43-0099	角田彰三郎	鈴木 正美根本 忠義	188
10	会 津	湯野尻 强	山/内ワグリ・阿部 重孝 渡部 敏郎・佐瀬千代子 橋本千賀子	〒965-0875 会津若松市米代一丁目5-33 会津若松市立謹教小学校 ☎ 0242-28-2100 FAX 0242-29-3405	穴澤 眞澄	湯野尻 强 山ノ内ワグリ	745
11	耶麻	横山 茂男	五十嵐 剛・宮内 光子	〒969-3512 喜多方市塩川町字東栄町二丁目1-1 喜多方市立塩川小学校 ☎ 0241-27-2049 FAX 0241-28-0386	萩原 孝	横山 茂男 五十嵐 剛	297
12	大 沼	長嶺 敏	児島 昌詮・星 正弥	〒969-6262 大沼郡会津美里町字法幢寺南甲3505 会津美里町立高田小学校 ☎ 0242-54-2242 FAX 0242-54-2272	渡部 隆一	長嶺 敏 児島 昌詮	172
13	河沼	知々田德衛	大谷 鉄夫・角田七兵衛	〒969-6553 河沼郡会津坂下町字石田甲650 会津坂下町立坂下小学校 ☎ 0242-83-2046 FAX 0242-83-0966	長澤健治	知々田德衛 角田七兵衛	109
14	南会津	荒川 俊一	月田 敏雄・渡部 雄次	〒967-0004 南会津郡南会津町田島字根小屋甲4277-1 南会津教育事務所総務社会教育課 ☎ 0241-62-5367 FAX 0241-62-5254	山本 恭士	荒川 俊一 月田 敏雄	126
15	いわき	片寄 秀雄	引地 晴子・金山 一彦 木下 忠孝・笹川 直樹 矢内 金五	〒970-8026 いわき市平字梅香町7-1 いわき市立平第二小学校 ☎ 0246-23-2413 FAX 0246-23-2414	金内 三郎	片寄 秀雄 金内 三郎	1000
16	相馬	岩本 勝博	二瓶 新平•長谷川件七郎	〒976-0022 相馬市尾浜字細田1 相馬市立中村第二小学校 ☎ 0244-38-8104 FAX 0244-38-8159	管野 孝司	岩本 勝博管野 孝司	605
17	双葉	遠原 肇一	草野 巍久・紺野 廣光 沼内喜久男	〒969-1302 安達郡大玉村玉井字長久保37-4 (臨時事務局 遠原支部長宅) ☎ 0243-48-2355 FAX 0243-48-2355	吉田 弘見	遠原 肇一吉田 弘見	250
18	東京	荒井 孝	五十嵐陽一	〒121-0813 東京都足立区竹の塚5-34-8 ☎ 03-3883-1968 FAX 03-3883-1968	荒井 孝	荒木 俊夫 島貫 金雄	110
19	仙台	結城 正芳	伊藤 宗男·泉 健逸 吉田 利弘	〒984-0073 仙台市若林区荒町86 仙台市立荒町小学校 ☎ 022-221-3595 FAX 022-221-3597	堀越 清治	結城 正芳 堀越 清治	260
20	大河原	宍戸 孝	山崎 實・八島 芳明 庄司 幹雄・佐々 武弘 森 貢喜		日下 嘉充	宍戸 孝 八島 芳明	244

平成24年度 吾峰会本部役員名簿

吾

競木 健一 960-8116 福島市春日町4-15 024-534-8255 中田スウラ 960-1296 福島市を分川 福島大学人間発達文化学類 024-548-8100 学 類 長 960-1241 福島市松川町字八丁目3 024-567-2383 河原田保一 965-0832 会津者松市天神町12-50 0242-26-5596 会 津 河原田保一 969-0271 西白河郡矢吹町小松520-2 0248-42-3968 県 中 969-1302 安達郡大玉村玉井字長久保37-4 0243-48-2355 浜 960-0612 伊達市保原町宮下95-1 024-576-2458 伊達市保原町宮下95-1 024-576-2458 事務局長 市 哲也 960-0241 福島市町佐分字上成出20-16 024-58-7358 事務局長 市 哲也 960-0261 福島市町佐分字上成出20-16 024-591-1035 庶務部長 960-0210 福島市瀬上町字町裏4-18 024-553-7251 会計部長 阿部 昭生 960-0241 福島市道公字三本松30-5 024-557-7736 組織部長 第60-0241 福島市道公字三本松30-5 024-557-7736 組織部長 第60-0241 福島市道公字三本松30-5 024-553-6385 広報部長 第60-0112 福島市道大野目字原下9-19 024-553-6385 広報部長 第60-0112 福島市南美利字株作7-7 平野 哲哉 960-0112 福島市南美野目字原下9-19 024-553-6385 広報部長 第6日 第60-0112 福島市南矢野目字原下9-19				平成2	24年度	
翻 一	役職名	氏	名	住所・勤務先	電話番号	備考
### PE	京石 日日	鈴木	健一		024-534-8255	
報応	作以 [中]	中田ス	ウラ		024-548-8100	学 類 長
	会 長	服部	秀文		024-567-2383	
		河原田	保一		0242-26-5596	会 津
	副会長	高橋	道保		0248-42-3968	県 中
野が 神子 神子神(原)町宮下95-1 024-976-74-948 実験 茂 野島-0101 963-0111 024-558-7358 事務局長 580-0101 024-558-7351 024-558-6385 024-558-6385 024-558-6385 024-558-6385 024-538-1088 024-558-6385 024-538-1088 024-558-6385 024-558-		遠原	肇一		0243-48-2355	浜
#	臣 市	鈴木	絢子		024-576-2458	
### 止見 福島市笹谷字上成出20-16 1024-558-7358 事務局長	m #	柴崎	茂	8 - 1200 - NECOTO 100	024-946-3700	
古川 古川 日本 福島市町底坂字内町1 024-553-7251 会計部長 960-0101 福島市並和上町字町裏4-18 024-553-7251 会計部長 960-0241 福島市並谷字三本松30-5 024-557-7736 組織部長 4個 第章 960-0124 福島市並名字三本松30-5 024-553-6385 広報部長 500-0124 福島市並和上野日字原下9-19 024-553-6385 広報部長 960-0124 福島市市坂町甲字西八景14-1 024-542-5751 日本 960-8254 日本 960-8022 日本 960-8022 日本 960-8022 日本 960-8024 日本 960-8017 日本 960-8017 日本 960-8017 日本 960-8017 日本 960-8017 日本 960-8016 日本 960-8016 日本 960-8017 日本 960-8014 日本 960-8016 日本 960-8017 日本 960-8017 日本 960-8017 日本 960-8017 日本 960-8017 日本 960-8017 日本 960-8018 日本 960-8017 日本 960-8017 日本 960-8017 日本 960-8018 日本 960-8051 日本 960-80		齋藤	正寛		024-558-7358	事務局長
### 25		吉川	哲也		024-591-1035	庶務部長
常任理事		高野	光揚		024-553-7251	会計部長
常任理事 哲哉 福島市渡科字株作7-7 024-537-099 研究部長 290-0112 福島市南矢野目字原下9-19 024-553-6385 広報部長 24-6 024-533-1088 事務局次長 250-0261 福島市南東浜町24-4 024-533-1088 事務局次長 250-0261 福島市南東沢町24-4 024-557-3685 福島市市東沢町24-4 024-557-3685 福島市市東沢町4-6 附属小学校 960-8022 福島市新浜町4-6 附属小学校 024-534-6441 960-8022 福島市新山2-73 024-534-6441 024-523-1920 福島市市銀田町12-26 附属中学校 960-8042 福島市市銀町12-26 附属中学校 960-8107 福島市市銀町12-26 附属中学校 960-8107 福島市市銀町12-26 附属中学校 960-8107 福島市市銀町2-26 附属中学校 960-8141 福島市北東田町12-26 附属中学校 960-8161 福島市北井中央3-31 960-814 福島市北中央3-31 960-8152 位指島市北中中央3-31 960-8152 位第 87 福島市北中央3-31 924-536-1244 福島市北中央3-31 960-8164 福島市北中央3-31 960-8164 福島市北中中央3-31 960-8164 福島市市北中字市島105-1 024-557-8199 第60-0102 福島市市公平学市場1-13 024-557-8199 第60-0145 伊達郡川保町字がノ内4-13 024-557-8199 第60-0145 伊達郡川保町字がノ内4-13 024-557-819 第60-0145 伊達郡川保町字がノ内4-13 024-557-819 第60-0145 伊達郡川保町字がノ内4-13 024-559-2478 福島市政利大久保25-1 024-523-1035 960-8057 福島市市政利大久保25-1 024-523-1035 960-8057 福島市市政利大久保25-1 024-534-0141 福島市渡田学中本松30 024-554-2622 第60-8067 福島市第川-31 福島市北田子中校 024-534-0141 福島市第田子平本松30 024-554-2622 第60-8067 福島市第田子平本松30 024-554-2622 第60-8067 福島市第田子平本松30 024-554-88-8194 第60-01296 高の 806-8102 福島市市東野日字中江11-11 024-559-3695 月時 隆一 第60-8102 福島市市東野日字中江11-11 024-559-3695 月時 隆一 第60-8102 福島市市東浜町1-33 福島市北田学校 024-534-0141 福島市市東浜町1-13 福島市市東浜町1-33 福島市北田学校 024-534-0141 福島市市東浜町1-13 福島市市井野田学中江11-11 024-559-3695 月時 18-12 024-559-3695 日前市産務田学校 18-12 11-12 024-559-3695 日前市産務田学中市東浜町1-32 024-559-3695 日前市産務田学市市東浜町1-32 024-559-3695 日前市産務田学市市東浜町1-32 024-559-3695 日前市産務田学市市東浜町1-32 024-559-3695 日前市産務田学市市東浜町1-32 024-559-3695 日前市産務田学市市東浜町1-32 024-559-3695 日前市産務田学市市産務田学市市産務田学市市東浜町1-32 024-559-3695 日前市産務田学市市東浜町1-32 024-559-3695 日前市産務田学市市東浜町1-32 024-559-3695 日前市産務田学市産務田学校 18-12 11-12 024-559-3695 日前市産務田学市市東浜町1-32 024-559-3695 日前市産務田学市市産務田学市市市産務田学市市市産務田学市市産務田学市市市産務田学校 18-12 11-12 024-559-3695 日前市産務田学市産務田学市産務田学校 18-12 11-12 024-559-3695 日前市産務田学校 18-12 11-12 024-559-3695 日前市産務田学市産務田学校 18-12 11-12 024-559-3695 日前市産務田学市産務田学 18-12 11-12 024-559-3695 日前市産務田学 18-12 11-12 024-559-3695 日前市産務田学 18-12 11-12 024-559-3695 日前市産務田学 18-12 11-12 024-559-3695		阿部	昭生		024-557-7736	組織部長
常任理事		熊田	喜宣	The state of the s	024-521-0099	研究部長
	告任理事	平野	哲哉	The state of the s	024-553-6385	広報部長
長澤 徳子 福島市飯坂町中野字西八景 14-1 024-527-751 7年金之助 960-823 960-823 960-823 960-823 960-823 960-823 960-823 960-823 960-823 960-823 960-802 960-803 960-	市江庄尹	峯島	和彦		024-533-1088	事務局次長
大栗並之助 福島市南沢文字北屋敷10-12		長澤	德子		024-542-5751	
松浦 方字 福島市宮代字宝田前12-73 024-533-8303 内藤 良行 960-8022 福島市新浜町4-6 附属小学校 024-534-6441 小針 伸 960-8107 福島市浜田町12-26 附属中学校 024-534-6442 960-8064 福島市漁倉町1-80 ライオンズマンション705 福島市漁倉町1-80 ライオンズマンション705 福島市漁倉町1-80 ライオンズマンション705 024-522-3216 福島市漁倉町1-80 ライオンズマンション705 024-522-3216 福島市漁村字株作17-12 024-522-3216 960-8102 4福島市土中央3-31 024-536-1244 960-8164 4福島市北中央3-31 024-536-1244 960-8164 4福島市北中央3-31 024-536-1244 960-8164 4福島市人木田字中島105-1 024-546-3868 748-74-74-74-74-74-74-74-74-74-74-74-74-74-		千葉金	之助		024-557-3685	
内線 長行 福島市新浜町4-6 附属小学校 024-534-6441 小針 伸	e e	松浦	芳孝		024-553-8303	
小野 神		内藤	良行		024-534-6441	
松雨 淳一 福島市御倉町1-80 ライオンズマンション705 024-522-1920	ly.	小針	伸一	The second section of the second seco	024-534-6442	
## 福島市渡利字株作17-12 024-522-3216 本田 邦夫 960-1101 福島市大森字本町裏22-9 024-546-6451 960-8072 福島市北中央3-31 024-536-1244 960-8164 福島市北中央3-31 024-546-3868 1		松浦	淳一		024-522-1920	
### ### ### ### ### ### ### ### ### ##		椿	薫		024-522-3216	
福島市鎌田字古舘7-2		本田	邦夫	The state of the s	024-546-6451	
近藤 博之 960-8072 福島市北中央3-31 024-536-1244		岩谷	敬恒		024-553-3643	
野木 信元 福島市八木田字中島105-1 024-546-3868 1 1 1 1 1 1 1 1 1		近藤	博之		024-536-1244	
関場 弘子 福島市笹谷字南田1-13 024-557-8199 関場 弘子 960-8152		鈴木	信光		024-546-3868	14
理事		込堂	啓子		024-557-8199	
哲野 和校 伊達郡川俣町字竹 / 内4-13 024-565-4763 清野 要 960-8136 福島市八島町11-12 大竹 明		関場	弘子		024-546-7632	
大竹 明 960-817 924-534-7632 1024-534-7632 1024-534-7632 1024-534-7632 1024-533-1035 1024-523-1035 1024-523-1035 1024-523-1035 1024-523-1035 1024-523-1035 1024-523-1035 1024-523-1035 1024-523-1035 1024-523-1035 1024-523-1035 1024-523-1035 1024-523-1035 1024-523-1035 1024-523-1035 1024-523-2478 1024-539-2478 1024-539-2478 1024-539-2478 1024-539-2478 1024-539-2478 1024-534-2622 1024-534-2622 1024-534-2622 1024-534-2622 1024-534-2622 1024-534-2014 1024-534-2014 1024-534-2014 1024-534-2014 1024-534-2014 1024-539-3695 1024-548-8194 1024-539-3695 1024-539-3695 1024-539-3695 1024-539-3695 1024-539-3666 1024-539-3066 1024-539-3066 1024-539-3066 1024-549-1507 1024-549-1507 1024-549-1507 1024-557-8443 1024-557-8	理事	菅野	和昶	The state of the s	024-565-4753	
一切 一切 福島市渡利大久保25-1 024-523-1035 日藤 隆司 960-8057 福島市笹木野字原端10-10 024-591-1532 野崎 修司 960-8254 148-市南沢又字上並松13-7 024-559-2478 148-市藤田字一本松30 024-554-2622 148-市藤田字一本松30 024-554-2622 148-市 148-n 148-n 148-n 148-n 148-n		清野	要		024-534-7632	
伊藤 隆山 福島市笹木野字原端10-10 024-591-1532 野崎 修司 960-8254 福島市南沢又字上並松13-7 024-559-2478 第本 昭雄 960-0102 024-554-2622		大竹	明		024-523-1035	
野崎 10 福島市南沢又字上並松13-7 024-559-2478 960-0102 福島市鎌田字一本松30 024-554-2622 日野 960-8001 福島市天神町11-31 福島市立福島第四小学校 024-534-0141 日本 960-8067 福島市道川町1-33 福島市立岳陽中学校 024-534-6171 1 1 1 1 1 1 1 1		伊藤	隆司		024-591-1532	
野木 昭雄 福島市鎌田字一本松30 024-554-2622 丹野 学 960-8001		野崎	修司		024-559-2478	
押野 字 福島市天神町11-31 福島市立福島第四小学校 024-534-0141 根本 月 960-8067 福島市須川町1-33 福島市立岳陽中学校 024-534-6171 元村 吉幸 960-1296 960-1296 960-1296 960-1296 960-1296 960-112 福島市金谷川1 福島大学人間発達文化学類 024-559-3695 960-8102 149-14 960-8102 149-14 960-8137 149-14 960-8137 149-14 960-8157 149-14 960-8157 149-14 960-8251 924-557-8443 924-557-8443		鈴木	昭雄		024-554-2622	
根本 項 福島市須川町1-33 福島市立岳陽中学校		丹野	学		024-534-0141	
本村 古辛 福島市金谷川1 福島大学人間発達文化学類 024-548-8194 1		根本	眞		024-534-6171	
特地 隆一 960-8102		木村	吉幸	The state of the s	024-548-8194	
幹事 期口 史子 福島市北町1-13 024-521-3954 製口 史子 960-8132 福島市東浜町16-32 024-535-3066 笹川 二郎 960-8157 福島市蓬萊町6-18-18 024-549-1507 午館 清麦 960-8251 024-557-8443		髙橋	重義		024-559-3695	
幹 事 関口 欠ナ 福島市東浜町16-32 024-535-3066 笹川 二郎 960-8157 福島市蓬萊町6-18-18 024-549-1507 矢錠 清麦 960-8251 024-557-8443		持地	隆一	福島市北町1-13	024-521-3954	
世川 一郡 福島市蓬萊町6-18-18 024-549-1507 安館 清麦 960-8251 024-557-8443	幹事	関口	史子	福島市東浜町16-32	024-535-3066	
大田 海丞 1112/1-557-8//13		笹川	二郎	福島市蓬萊町6-18-18	024-549-1507	
		矢舘	清孝	The state of the s	024-557-8443	

役職	敞名	氏	名	住所・勤務先	電話番号	備	考
幹	事	藤原	謙	960-8022 福島市新浜町4-6 附属小学校	024-534-3942		
料	*	嶺岸	知弘	960-8107 福島市浜田町12-26 附属中学校	024-534-6442		
事和	務員	梅津	浩子	960-2261 福島市町庭坂字一本杉1-30	024-591-1609		

総務部

4-C 333 HP				
役職名	氏	名		
部 長	齋藤	正寛		
	吉川	哲也		
=	高野	光揚		
事務局	阿部	昭生		
争伤问	峯島	和彦		
	関口	史子		
	梅津	浩子		

組織部組織強化委員会

役職	名	氏	名
委員	長	阿部	昭生
副委	長	千葉会	企之助
		松浦	淳一
		本田	邦夫
		鈴木	信良
委	昌	佐藤	忠三
安	貝	込堂 啓	啓子
		熊田	喜宣
		菅野	和昶
		野崎	修司
会	長	服部	秀文
		髙橋	重義
担当韓	幹事	持地	隆一
		矢舘	清孝

庶務部

役職名	氏	名
部 長	吉川	哲也
副部長	峯島	和彦
	松浦	芳孝
事務局	内藤	良行
	藤原	謙

広報部会報編集委員会

役職名	氏	名
委員長	平野	哲哉
	石岡	恒憲
委員	鵜沼	秀雅
安 貝	今野 滋	滋子
	緑川	透
	髙橋	重義
担当幹事	持地 隆-	隆一
	笹川	二郎

研究部

氏	名
熊田	喜宣
後 笹川	二郎
	長 熊田

会計部

ZA 11 11		
役職名	氏	名
部 長	高野	光揚
副部長	関口	史子
	阿部	昭生
事務局	小針	伸一
	嶺岸	知弘

広報部HP委員会

T TK DP I	1 下女具	. 🎞
役職名	氏	名
委員長	高野	光揚
副委員長	高橋	正紹
	阿部	隆
委 員	馬場	秀之
	富田	元久
担当幹事	髙橋	重義
	•	

積立金管理運営委員会

役職名	氏	名
委員長	山内	兵衛
副委員長	長澤	德子
委員	安田	茂
委 員	小針	伸一
担当幹事	嶺岸	知弘

事務局より

』 ▷ 二本松大会は10月13日仕開催予定

▶ ホームカミングデーは11月 4日(日) AM11:00~

○声をかけ合って、ぜひ多数お集まりください。懐かし い再会の場として計画しましょう。

▷ 出版図書ご寄贈の紹介

- ○東京支部 歌川義男様 「続・私の南会津植物誌」(⑪頁参照)
- ○福島支部 鈴木健一様 「金平糖の話」~福祉と教育の融合を求めて~
- ・吾妻連峰を仰ぎ見る「社会福祉法人青葉学園」の理事 長として13年余勤められ、職員に講話された内容が紹 介されています。

▷計 報

- ○顧 問 色摩 勝夫 様(⑫頁参照) 平成24年4月
- ○元事務局長 小林 四郎 様 平成24年7月 謹んでご冥福をお祈りいたします。

ともと教師になろうと思っ

いなかった私が、その先

い時には共に笑いあいました。

しい時には支えられ、 て同輩に恵まれました。 た先輩に出会いました。も FUN。そこで熱い志をもっ

15

身が群馬の

男子校」の人

に出会いました。一

一人は出

11

ました。その先輩と共に

で気の置けない先輩に出会

偶然入った学生会。

で後の親友となる三人の人 がいなかった私は、クラス まだ友人と呼べるような人

子校」の人でした。そして でした。一人は宮城の「男

とになっていました。どん

しか執行委員長を務めるこ 活動をしているうちにいっ

男

子校」の人でした。 もう一人は宮城の別の

私はこれまでに数え切れ

~卒業祝賀会卒業生代表あいさつ~ 人によって人になる

口 諒

学校の教師という道を選ん 気づけばその先輩と同じ小 でいました。

入学して日が浅く、

うして大勢の前で卒業生代 分からなかった私が、今こな活動をしているのかさえ 表の挨拶をしていることが 不思議でなりません。

衝撃を受けた出会いはあり

てきましたが、この時ほど ないほど多くの人と出会っ

ませんでした。偶然と言う

べきか、出会うべくして出

会ったと言うべきかは分か

した。 た先輩や後輩、先生、そし 底話しきれない多くの優れ にはお酒を酌み交わしたこと 漢文学の奥深さを知り、時 先生でした。その先生から 然、あの漢字研究で著名なあった漢文学の先生が、偶 白川静先生の教えを受けた 学業においては、興味の 人間の面白さを学びま さらに、ここでは到

生活はこうした偶然が重な りません。ただ、私の学生

ることで作られていったよ

うに思います。

偶然入った教職サー

・クル

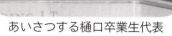
でした。 ということを学んだ四年間 言えるでしょう。 のだったのかもしれません。 それは別な言葉で「縁」と して必然的に与えられたも 人は人によって人になる」 つの出会いは偶然ではな 今思うと、こうした 自分に必要な出会いと まさに

に娘

とになりますが、そこで出 でいきます。 きる人間になれるよう励ん いささかでも社会に貢献で 会った人との縁を大切にし、 さらに多くの人と出会うこ 月から社会人です。 今日卒業する私たちは 今より 四

私たちの為に祝賀会を開い 先生方、在校生代表として 過ごせて本当に幸せでした。 ありがとうございました。 来てくれた後輩の皆さん、 ていただいた吾峰会の皆様、 私は福島大学で四年間を 最後になりますが、本日

16頁参照



平成23年度学生表彰者

(敬称略)

福島大学人間発達文化学類

体】 【寸

- *福島大学混声合唱団
 - ・全日本合唱コンクール銀賞
- *福島大学陸上競技部
 - 各種陸上競技大会で活躍
- *福島大学吹奏楽団
 - 各種吹奏楽コンクール入賞

【個 人】

- *芸術の分野で優れた業績をあげる
 - 曲

巧真 (大学院)

- *スポーツの分野で優れた業績をあげる
 - 陸上競技

中村 優平 松岡 悠生 浅見真理奈 沙織 加藤 咲絵 千葉 雪菜 村上

•空手道

小池由希子

- * 学業・研究業績の分野で優れた業績をあげる
 - 学業・研究

小泉 香苗 開田 幹子

(現代教養)

者や学生、そして、それを る向きもある中、大学関係 て取り組んできたことに対 後援する方々が一体となっ 島県での学習環境を心配 とに感謝したいという親心 を見つけました。そこには、 という他県の方からの投書 する評価の一端を目にして、 が記されていました。 さや福島という地域の温か た学生生活を送っているこ さにふれながら娘が充実し 大学ならではの講義の面白 震災・原発事故により が入学してよかった」 す が送られてきたのです。大メッセージと共に後援会費 被災した保護者の方から議していたときのことです。 学生の後援会費に関して協 後援会長を終えた身にも 変な状況にあるはずなのに…。 た出来事があります。震災 た四年間の中で、印象に残っ で先が見えない不安が漂う 遅れてすみません」との 後援会の役員を仰せつか しいことでした。 横 甚大な被害のあった入 山

いう親の思いに胸が熱く でも充実し、多くのことを 「子どもの大学生活が少し

ともに、福島大学の発展を お祈りいたします。 に心より感謝申し上げると お世話になった多くの方々 考えさせられました。 後援会から卒業した今、 後援会の役割を改め 福島支部



英

卒業祝賀会場での筆者(右から3人目)

平成23年度福島大学 人間発達文化学類第4期生

DB 時…平成24年3月26日(月)15:00~17:00

▷場 所…福島市 ウェディングエルティ 2 F ハートン・シエラルーム

▷ 出席者…ご来賓 7 名 (入戸野学長・中村副学長他 5 名)、 大学教員19名、卒業生213名、主催者事務局18名



入戸野学長祝辞



会長あいさつ



池上 彰氏のメッセージを紹介する中田学 類長と三浦教授



DING LT 中田学類長祝辞

会役員の温かく有意義な、後援会役員(来賓)・同じ 卒業生・ 開され 大学の 教員・ 心窓

万 歳 三 杯 閉会のことば

紹介と委嘱状交付 紹介と委嘱状交付 一ノ瀬あゆみ 一ノ瀬あゆみ 高橋副会長 高橋副会長

世話役紹介と素 卒業生代表挨郷 挨開 会のこと

拶 公 戸 野 学 長 長 次の順序で会は進められた。 齋藤事務局長の進行で、

盛



初めて在学生代表参加



世話人へ委嘱状交付



希望に満ちた参会者



鈴木監事•此 遠原副会長•木 内議 声右か 岩から 柴崎監事 本田理事 (· 高橋) 副

場日 所時… 七 流日

П 事

作品が展示されている)頁で紹介した丹治思郷

t

in

ある

(地元テレ





「あぶくま展」会場

発事故から、あの未曾有の なりま いご活躍を報道等で知る大先輩方の元気で素晴ら かり見えていまとも・関係教職員 の「絆」をいったが奮いったがない。 ず。 たくましく成長する い状況の教育現場 0 立道 年 ちま 最員の姿が 難生活 一数ヶ月八震災と カン 数ヶ月に展災と原 かりと す 0 \$ 0





第17回東京吾峰展 道山昭次氏提供